

## 議 事 録 (要旨)

配布先		主催 企画課			No.
議事録名  第3回 佐久市行政改革推進委員会 作成日 令和7年9月5日		事務局			記録者
		部長	課長	係長	係
日 時	令和7年9月3日(水)	開催場所	佐久市役所 南棟3階 大会議室		時 間 13:30 ～ 15:40
出席者	<p>委 員： 島田千穂、水間武樹、碓井正雄、春日利夫、須田拓真、友野将実、丸山佐恵子、酒井紫乃、森澤貴子</p> <p>所管課： 8「地域おこし協力隊起業等支援補助金」 企画課企画調整係長 小林 利樹、企画調整係 大塚 渉</p> <p>9「保健補導委員会運営費交付金」 健康づくり推進課長 田中 進、健康増進係長 三石 恵子 健康増進係専門員 植木 美帆</p> <p>10「佐久市食品衛生協会補助金」 環境政策課長 井上 剛、環境政策係 松田 千文</p> <p>11「後継者育成活動補助金」 12「水田農業構造改革対策事業補助金」 13「佐久ブランド米消費拡大事業補助金」 14「学校給食応援団活動支援事業補助金」 農政課農政係長 須江 正樹 農政課農業生産振興係長 佐藤 俊之</p> <p>事務局： 企画課長 市村志郎、行政改革係長 佐藤俊 行政改革係 上田知広、中村愛美</p>				委員 出 9人 欠 6人
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 資料1 第2・3回行政改革推進委員会における外部評価の手順について</li> <li>・ 資料2 令和7年度 補助金等外部評価 意見に対する回答説明スケジュール</li> <li>・ 資料3 外部評価対象補助金等への意見に対する回答</li> </ul>				

《開会》

《会長あいさつ》

《会議事項》

・令和7年度補助金等外部評価について（資料1、資料2）

【評価方法等について事務局から説明】

【委員からの意見等は特になし】

ア 委員からの意見等に対する回答について（資料3）

【8「地域おこし協力隊起業等支援補助金」】（企画課）

委員 補助金を活用してパソコンを購入した場合、単年度で終わる消耗品ではないので、途中で使用をやめた場合は、返却するのでしょうか。他の制度を利用した際に、5年以上の利用を定めているものがあったので、この補助金についてもなにか規定はありますか。

小林係長 細かい規定は設けておりません。物品の耐用年数など国の方で定めがありますので、準じて取り扱いを検討してまいります。

委員 協力隊の仕事を終えて、定住・起業につなげた後の効果検証というのも大事ではないかと考えます。

小林係長 ご意見ありがとうございます。

委員 補助金自体良いものだと思うが、他の制度との整合性で、IターンUターンで起業する方向への補助金があったと認識しているが、同じようなものだが、別の補助金として扱う理由はあるのでしょうか。

小林係長 本補助金については、協力隊として3年間の活動を経て、その後起業や定住していただくことに特化して行っております。また、国の特別交付税の対象となることもあり、別建てとしております。Iターン・Uターンのものについては詳細が不明ですが、移住交流推進課にて実施の補助金と思われれます。

【9「保健補導委員会運営費交付金」】（健康づくり推進課）

委員 活動内容をみて、市民の身近なものに感じます。男女比を回答いただいたが、年齢層はどのようになっているのか。また、任期について再任される方が多いのか、活動内容についてどのように決めているのか教えてください。

植木 年齢層については、平均年齢60歳となっています。若い方で20歳代～80歳代の方が現在いる状況です。任期につきましては、2年としていて、約9割の方が入れ替わり

となっています。また、活動内容につきましては、佐久市を14ブロックに分けて、その代表を理事として選出し、活動内容、健診内容を含めた年間計画を理事の意見を踏まえて最終決定しています。

委員 活動の中で、記念誌に充てる金額が多額に感じました。記念誌を拝見したことがないので、どんなものか教えてください。毎年あるものでしょうか。

植木 記念誌は、10年に1度作成しています。新佐久市20周年の節目でもあり発行したもので、積み立てを行いながら実施しています。

委員 交付金となっている理由はなにかあるのでしょうか。補助金と交付金の違いを教えてください。

市村課長 補助金については、佐久市補助金交付基準、交付金は、佐久市交付金のあり方についての基本方針を規定しています。その中で、交付金について、市が実施すべき事業を市に代わって行うものに対し、その経費の財源を報償としてとして交付すると定義しておりますので、保健補導委員会については交付金と取り扱うものとするごことでご理科いただければと思います。

委員 活動内容から健康に対して強化すべき点が不明確であると感じます。市民に向けて健康目標のようなものを情報発信すべきではないでしょうか。

田中課長 健康アンケートの回答から、活動内容に反映させていきたいと考えます。

委員 協力手数料等について、市からの歳入に対して項目を分ける必要があるのでしょうか。簡素化してもよいのではないのでしょうか。

田中課長 おっしゃる通り簡素化できるのではと疑問には感じているところですので、来年度以降に検討させていただきたいです。

#### 【10「佐久市食品衛生協会補助金」】（環境政策課）

委員 各支部の決算書について確認しましたが、本会の決算書はないのでしょうか。

井上課長 本会にあたる組織は、佐久市だけでなく広域を管轄するものになっており、各支部は市内事業者のみを対象とし、会計も独立しているため、市から各支部への直接補助を行っているので、本会決算は求めておりません。

委員 繰越金が多い支部があるように思います。合併によるものではあると思うが、支部によって差があるのではないのでしょうか。

委員 活動できない期間でも助成金が続くと活動しなくてももらい続けられることになるため、見直しが必要ではないのでしょうか。

井上課長 繰越金について、コロナ禍で事業ができなかった過去の影響もあるが、単年度で見れば使い切っている状況です。

【11「後継者育成活動補助金」】（農政課）

委員 後継者育成ってなっていて、対象が若手なのかと思いますが、必ずしも後継者が若手でなくてもよいのではと考えますが、担い手となる新規就農者に他の補助金として補助があるのでしょいか。

須江係長 国の補助ですと 45 歳までの年齢制限がありますが、市単独では、45 歳から 55 歳までの新規就農者への補助金を別で設けております。

委員 団体の自立を促すためにも市が事務局を担うのではなく、団体に自立を促すべきではないでしょうか。

須江係長 今後見直し時に検討させていただきます。

委員 耕友会に対しての補助ということですが、会員数が非常に少ないように思いますが理由を教えてください。

須江係長 定年が 45 歳となっております、定年後は抜けていく形になっています。会員数多いときですと、12～13 名程度でしたが、現在は 10 名の現状です。その分、新規会員の確保活動を行っている状況です。

委員 コロナ禍で事業が行えなかった分の補助金を繰越金として充てるのは、市として問題があるのではと思いますが、どのように解釈すればよいでしょうか。

佐藤係長 繰越金については、補助金交付基準の中で、補助額の二分の一を超えていないかという規定があるが、超えた場合に直ちに返還というわけではなく、所管課が評価の中で是正を働きかけて、必要であれば補助金のあり方を検討する流れとなっております。

委員 使わない、使えない金額なのであれば減額や廃止などを検討していただきたいです。

【12「水田農業構造改革対策事業補助金」】（農政課）

委員 令和 5 年度と令和 6 年度の決算額が大幅に増額しているが、どの項目で増額しているのでしょうか。

佐藤係長 主食用米と他の作物に転作した時の差額を補助するものになりますので、主食用米の価格が高騰しているため、全ての項目において価格差が生じ、影響が出たことが増額の要因と考えられます。

委員 令和 7 年度予算としては、令和 5 年度基準と解釈できるが、対策はなにかあるのでしょうか。

佐藤係長 予算計上時より、高騰しているため、転作物目を絞り、対象を限定することで対応を考えております。

委員 過剰作付面積の実績について、減少しているようだが、今年もその傾向なのでしょうか。

佐藤係長 国からの米の必要量と佐久市での収量見込みから逆算して目標が設定されるため、単純に前年度と比較できません。単純にその分減ったということではありません。

委員 制度経過年数は 20 年経過している中で、過剰作付面積 0 ha を目標とすることに変わ

りはないということでしょうか。

- 佐藤係長 佐久市だけの取組ではなく、長野県全体での取組ですので、足並みをそろえています。
- 委 員 転作したものを主食用米に戻すときは補助対象となりますか。
- 佐藤係長 対象外です。
- 委 員 転作の確実な実施については、検討が必要だと考えます。
- 佐藤係長 国・県の状況・方針に沿う形で改めていこうと思います。

【13「佐久ブランド米消費拡大事業補助金」】（農政課）

- 委 員 佐久米をブランド化していく必要性っていうのは今後もあるように思いますが、廃止の方向性ってなると今までの取組が無駄になってしまうように思うので、どのようにお考えでしょうか。
- 佐藤係長 佐久米としてこしひかりが挙げられますが、佐久地域はコシヒカリ栽培に適していて、収量も全国トップクラスであるため、この強みを生かした新たな取り組みを検討していきたいと思っております。
- 委 員 廃止になった場合、JA 佐久浅間の事業も廃止なのでしょうか。
- 佐藤係長 JA 佐久浅間は事業継続になりますが、佐久市のみの事業ではないため区別が難しいこともあるので、市として別の取組を検討した方が良いと考えます。
- 委 員 市総合計画において、ブランド化推進は重要な施策ではないかと考えます。市としてはどのようにお考えですか。
- 佐藤係長 総合計画は策定段階なので、内部で検討中です。なかなか佐久市産のお米として広まらないのが現状で長野県産とひとくくりになってしまうため、佐久市の特徴ある米作りを検討しています。

【14「学校給食応援団活動支援事業補助金」】（農政課）

- 委 員 学校給食応援団に参加する農家のメリットを教えてください。
- 佐藤係長 地域の子供たちに自分が作ったものを食べてもらい喜んでもらえること、給食センターとの交流を通じて農業のやりがいを感じられること、また市場に出すほどの量はない少量でも、集約して給食センターに納品することで販売できることによる収入のメリットがあります。
- 委 員 お米は、どこから調達しているのでしょうか。
- 佐藤係長 給食センターで入札をかけており、地域の米屋や農協という場合もあります。
- 委 員 食材納品時の衛生管理の厳しさがあると話を聞きますが、当日朝収穫して、午前中の早い時間に納品する必要があるので段取りが難しいという苦勞も耳にしますが、管理は変わらないのでしょうか。
- 佐藤係長 給食センターとしては、ストックできる設備がないので、当日納品が原則となってい

ます。管理を変えるのは難しいと考えます。

【地域おこし協力隊起業等支援補助金】 現行どおり

【保健補導委員会運営費交付金】 現行どおり

【佐久市食品衛生協会補助金】 現行どおり

【後継者育成活動補助金】 手法等の見直し

【水田農業構造改革対策事業補助金】 現行どおり

【佐久ブランド米消費拡大事業補助金】 廃止

【学校給食応援団活動支援事業補助金】 現行どおり

上記のとおり、委員会の評価として決定。

《その他》

【事務局から、今後の予定について説明】

【その他、委員からの意見等は特になし】

《閉会》